



ICTを活用した 高齢者の孤独・孤立対策

～家族をつなぐ、地域をつなぐ「まごチャンネル」の事例～

2021年6月21日
株式会社チカク
パブリックセクター責任者 石井唯宏

本資料は事前公開用の資料です。
基調報告で使用する資料と一部異なる場合があります。

1. 「まごチャンネル」とは？

2. 孤独・孤立関連における社会情勢

3. 自治体での取組み

4. 高齢者DXのために



「まごチャンネル」とは？



簡単操作の「まごチャンネル」で孤独解消を



**ネット環境がない実家のテレビに動画や写真を送信できるサービス。
自治体と高齢者の孤独・孤立解消に向けた取り組みも展開中。**



①スマホから動画や写真を送信



②ネット回線がなくても動画や写真を受信



③実家のテレビでそのまま視聴



④スマホに「見始めました通知」

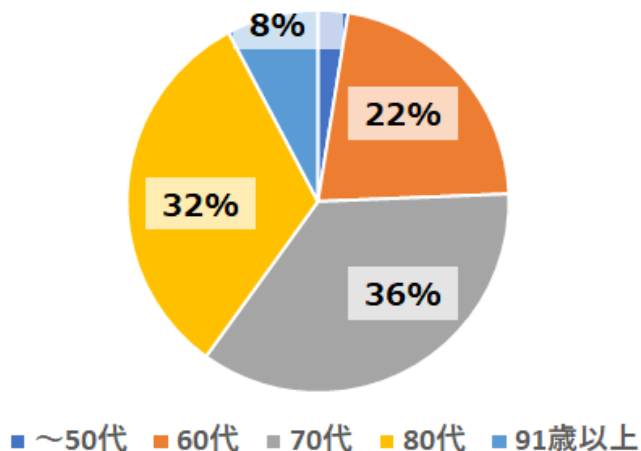
発売日：2016年6月1日

価 格：19,800円（税込）、サービス利用料月額1,628円（税込）

販 売：アマゾン、自社サイト

70歳以上が8割。100歳を超えるユーザーも。 「スマホが使えない両親でも使えた」「テレビの大画面で見れるのがいい」との声。

＜実家側（祖父母）年齢層＞
70歳以上が約8割を占める。
（80歳以上が4割）



T.kob

★★★★★ 簡単、便利、遠くのコロナ禍で会いに行けない人と、産まれたばかりの貴重な時間を共有できた。

2020年12月5日に日本でレビュー済み

容量: 本体 | [Amazonで購入](#)

LINEやスマホアプリが使えない親戚のために購入しました。トラブルなく写真を見てもらうことができました。(HDMIをテレビに繋ぐだけ？Amazonで直接発送したため、詳細はよくわからないですが)

コロナ禍で直接赤ちゃんを見せに行けないので非常に助かっています。スマホの画面と違いTVの大画面に動画を送れるので目の悪い、もうすぐ100歳になる、ひいおじいちゃんにも成長を楽しんでもらえています。「頭の形が変わってきたな」なんて言っているそうです。

なんといっても、ネット回線(SIM)付きなのが素晴らしいです。本製品を見つけるまでは、親戚にどうWifiの接続をしてもらうか頭を悩ませておりました。こんど遊びに行った時に設定してあげよう！と考えておりましたが、コロナ禍で行くわけにもいかず。困り果てていたところで、本製品に出会いました。



たえこ

★★★★★ コロナ禍での親孝行

2021年2月17日に日本でレビュー済み

容量: 本体 | [Amazonで購入](#)

2020年は新型コロナウイルス一色の一年でした。

そのような中、関東に住む私たち家族は地方の実家には帰省することができず、しかし、孫の成長を見てもらいたい気持ちから、調べていたところ、まごチャンネルにたどり着きました。

2歳の息子は成長が著しくかわいい時期。本当は帰省して会わせてあげたい。。。と私たちも悶々とする日々でした。

私の両親は70代で、スマートフォンを持っはいるものの、母やラインをやっとできる程度、父は電話機能以外全くできず、またインターネットやパソコンもできないため、簡単に操作できるのもとても魅力的でした。

まごチャンネル購入前は、スマートフォンに送った写真や動画をスマートフォンで虫眼鏡で見ている父…(笑)

そして、母とスマートフォンを交互に見ているという、、、(笑)どうかしてあげたいと思っていたところをまごチャンネルはすべて解決してくれました！

＜ユーザーからのお電話＞

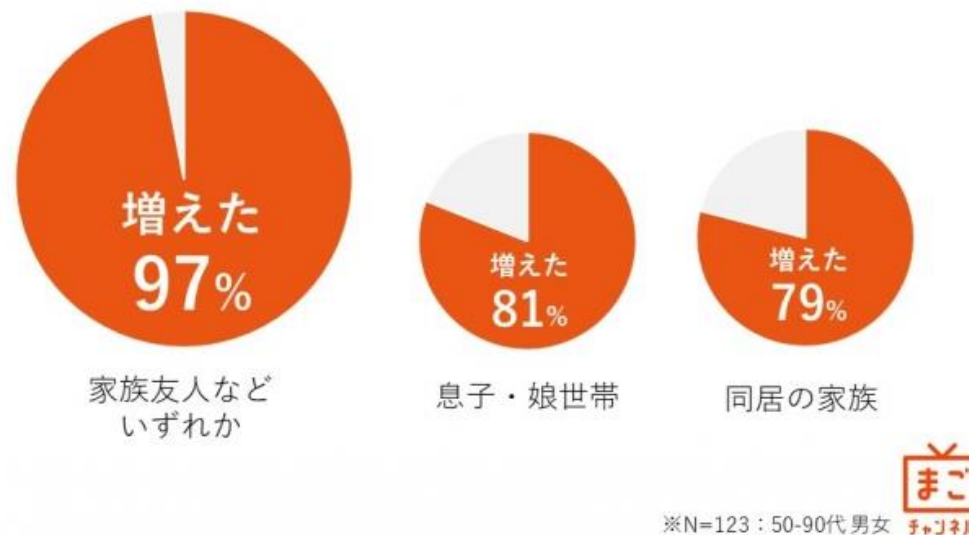
父は緑内障でスマホ画面が全然見えないのですが、テレビなら近づけばよく見えるようで、涙を流して喜んでいるようです。

遠く離れた家族とのコミュニケーションの増加

弊社シニア対象のユーザー調査で「家族との会話が增えた」97%

テレビの大画面で孫や家族の写真や動画をみることで、より親近感が増加し、夫婦や親戚、友人と一緒にテレビに映し出される孫や家族の動画をみることで会話機会の増加へとつながっているようです。

Q. まごチャンネルを利用してから、会話する機会が増えた相手

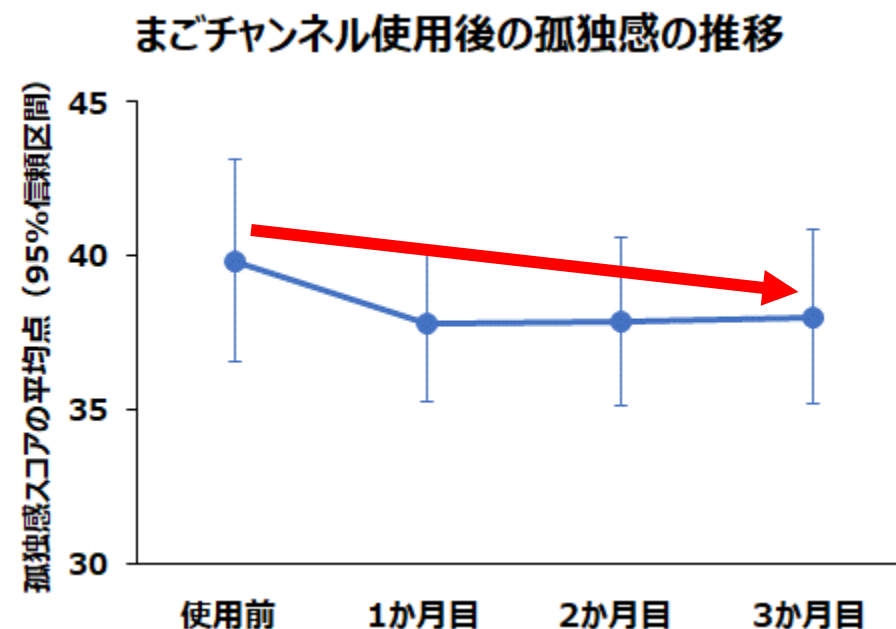


調査期間：2019年11月1日～11月13日
調査対象：まごチャンネル利用者123名
(50代～90代、男性：61名、女性：62名)
調査方法：郵送調査

孤独感が減少傾向に（速報値）

国立長寿医療研究センター 老年社会科学研究部との共同研究

研究に参加した中高齢者のうち、抗精神病薬等の服用のない全54人（平均年齢75.3歳）の結果を中間解析。
3ヶ月間の介入期間をととして、孤独感スコアが減少する傾向を確認。



遠隔的な写真・動画共有デバイスの使用による別居家族との交流促進が中高齢者の心理・社会機能に及ぼす影響：前後比較試験によるfeasibility研究

大企業とも協働

「たのしい、みまもり。」をコンセプトとした、見守りサービスをSECOMと共同開発。



まごチャンネルwith SECOM | セコムの高齢者向け見守り（みまもり）サービス | 施設対策・ホームセキュリティのセコム

SECOM 信頼される安心を、社会へ。

ホームセキュリティ | サイトマップ | お問い合わせ | お近くのセコム

検索キーワードを入力 検索



遠く離れたご家族の暮らしたの様子を、アプリで確認できます。

お部屋の環境を、いつでも確認できます。

本体に設置されたセンサーが、ご家族のお部屋の温度や湿度、照度を感知して記録。「みまもりアンテナ」アプリのグラフで、いつでも確認できます。

※センサーが正しく感知するように、本体の置き場所については、説明書をよくお読みください。



ご家族が起きたこと、寝たこともわかります。

照度の変化と生活音の有無により、ご家族の起床や就寝を判断。「起きたようです」「寝たようです」をアプリに通知します。

今年は特に気になる「熱中症」予防。お部屋の温度から、熱中症注意報を24時間アプリに通知。



ふだんがわかる
起床から就寝まで



今日(10/13木)

- 宮崎実家がまごチャンネルを見始めました 14:00
- 熱中症対策が必要な状態です。京都実家に声がけしましょう 14:00 実家に連絡
- 京都実家が起きたようです 05:24
- 宮崎実家が起きたようです 05:21

昨日(10/12水)

- 京都実家が寝たようです 10月12日 23:20

親の見守りサービスは…親子が楽しみながら使えるものなら継続もしやすい。

——2019年12月17日 介護ポストセブン

デジタルアレルギーの親が、意識せずデジタルの恩恵に与ることができる。

——2019年12月23日 AERA

テクノロジーが昔ながらの親戚付き合いと相互見守りを復活させた。

——2020年1月20日 産経新聞朝刊

東京都アプリアワード最優秀賞受賞



孤独・孤立関連における社会情勢



高齢者がいる世帯の6割以上が独居、夫婦のみ

- ・ 総人口は2010年をピークに減少傾向だが、高齢化率は右肩上がりに上昇。
- ・ 65歳以上の高齢者のいる世帯は全世帯の半数。
- ・ 高齢者がいる世帯の6割以上が独居、夫婦のみ。
- ・ 2030年には80歳以上が1500万人に。

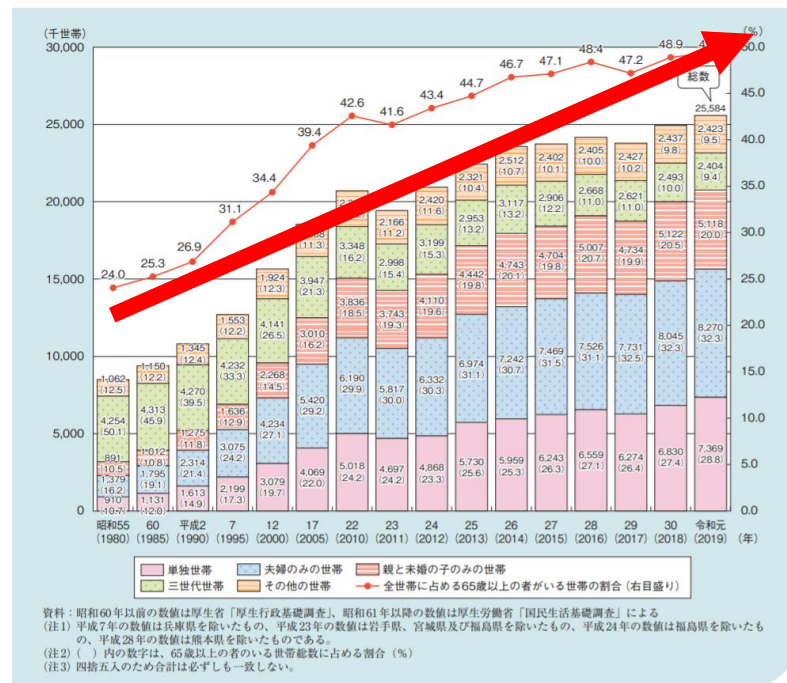
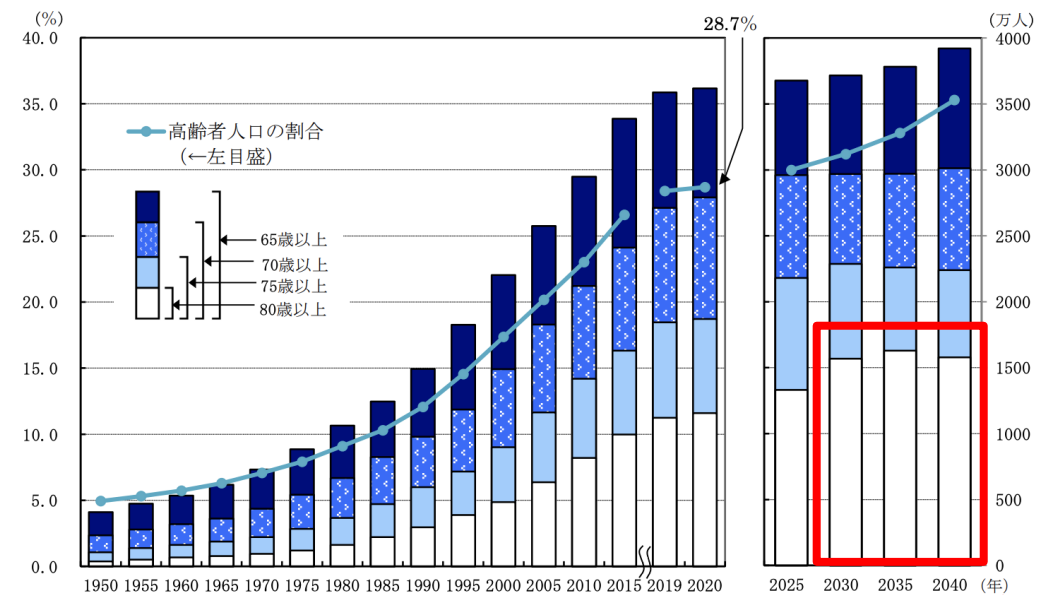


図1 高齢者人口及び割合の推移（1950年～2040年）



80歳以上が
1500万人

日本の高齢者は孤立がち？

- 「家族以外でお互いに相談や世話などをする友達がいない」(31.3%) が最多。
- 「相談したりされたりする」(20.0%)、「病気の時に助け合う」(5.0%) が最低。

図1-3-7 家族以外の親しい友人の有無

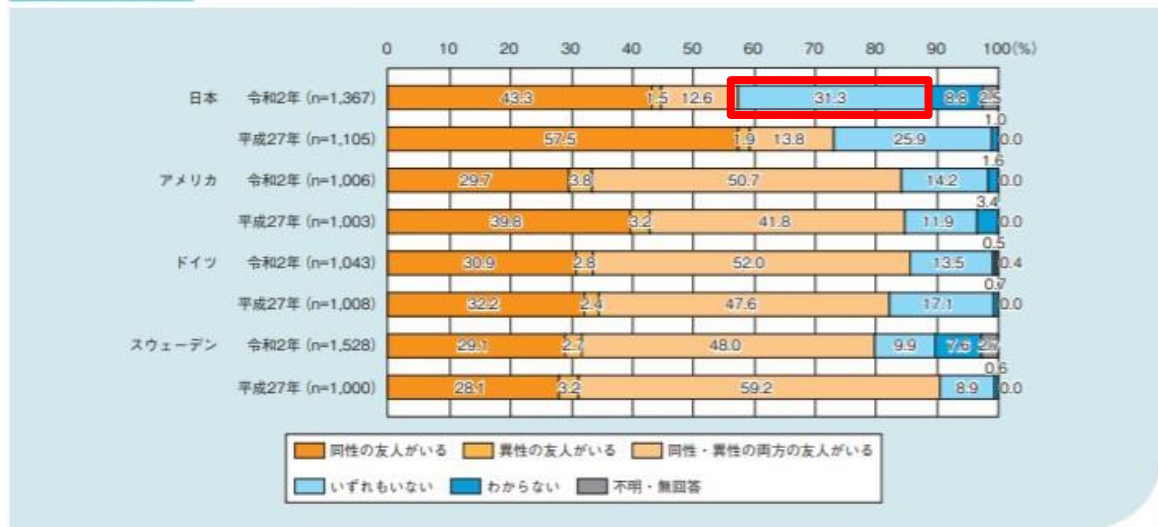
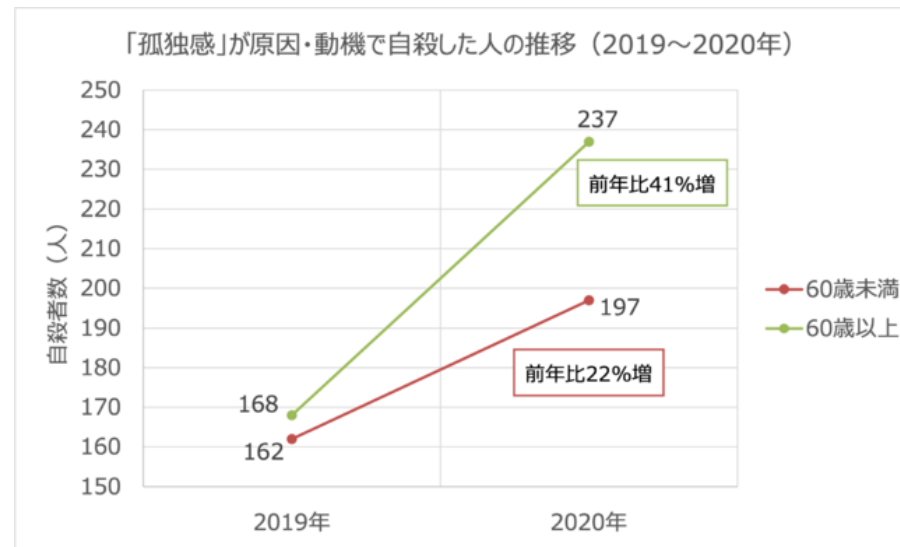
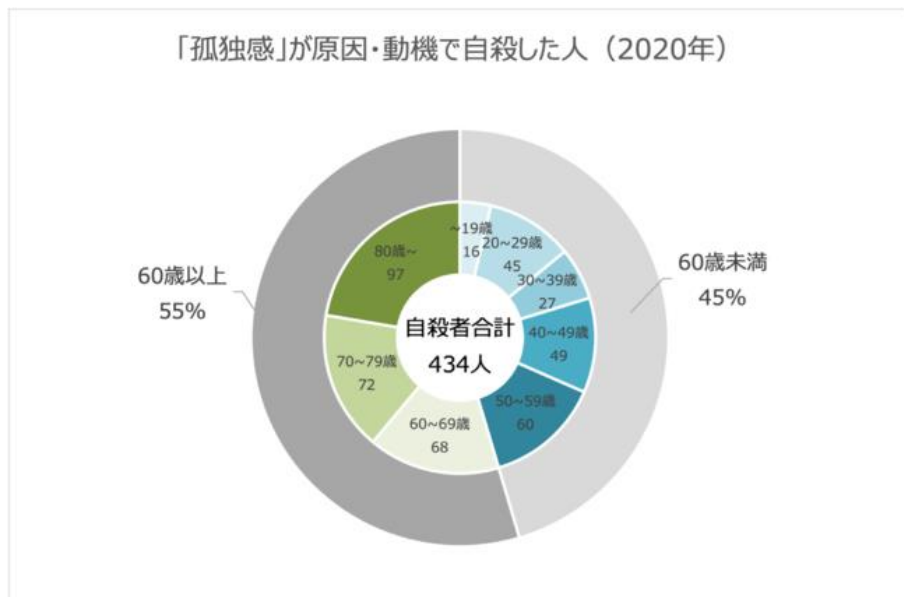


図1-3-6 近所の人とのつきあい方 (複数回答)



「孤独が原因で自殺」過半数が高齢者

- 2020年の自殺者数は21,077人（暫定値）で、11年ぶりに増加。
- 中でも「孤独感」が原因・動機で自殺をした人（434人）の過半数（237人）が60歳以上。
- 60歳未満の自殺者の前年比増加率が22%に対し、60歳以上の高齢者の自殺者は41%も増加。



孤独・孤立担当大臣の新設

- 政府は今年2月に孤独・孤立対策担当相を新設し、内閣官房に孤独・孤立対策担当室を設置。
- 「経済財政運営と改革の基本方針（骨太の方針）」に「孤独・孤立問題」の体系的な対策を盛り込む予定。

「孤独・孤立対策」担当に坂本少子化相 首相指示

新型コロナ + フォローする

2021年2月12日 9:57 (2021年2月12日 10:43更新)

保存



記者会見する坂本少子化相（12日、内閣府）



自治体での取組み



高齢者の孤独・孤立を 「まごチャンネル」で解消したいという自治体からの声。

- コロナ禍での外出自粛等により、地域住民のふれあいやつながりの機会が減り、高齢者等が孤立や不安を抱える事態になった。（大阪府泉大津市）
- 老人クラブ会員の減少に見られるように高齢者と地域との繋がりが減少しており、更には独居老人の増加で孤立化が進むことが問題点。（兵庫県たつの市）
- コロナ禍で町外に住む家族の里帰りが難しい状況が長期化し、町内に住む高齢者をはじめとする家族のつながりの喪失や見守りへの不安が懸念されている。（宮城県七ヶ宿町）
- 家族が町外に居住する高齢者は、日常生活の中で家族によるコミュニケーションや見守りを行うことが難しい。（鹿児島県肝付町）

大阪府泉大津市で「まごチャンネル」を活用した行政情報を届ける全国初の取り組み

人口	75,897人
概要	「まごチャンネル」を情報弱者への新しい「情報発信ツール」とした実証実験
期間	2020年7月～10月
対象	泉大津市在住の70歳以上の高齢者10名



背景

- 公助、共助の見守りの担い手（民生委員、福祉委員、自主防災組織等）が不足。
- さらに、コロナ禍により、高齢者との直接的なコミュニケーションがしにくくなった。

主な検証結果

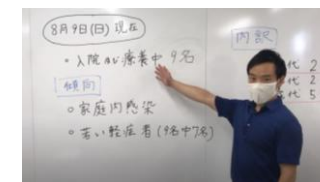
- 高齢者が「まごチャンネル」を活用できるか？
- 「まごチャンネル」を活用した情報伝達により、行動変容が起きるか？



健康情報



防災情報



市長からのコロナ感染状況の説明



防犯情報

実証実験結果：主要検証項目

【検証項目1】

「まごチャンネル」を活用できるか？

→動画の視聴率は100%。全員が「まごチャンネル」を不安なく活用していた。

【検証項目2】

「まごチャンネル」を活用した情報伝達により、高齢者の行動変容が起きるか？

→コンテンツ別に差異はあるものの、一定の行動変容が起きた。

【検証項目3】

今後も「まごチャンネル」を継続して活用したいか？

→10名中8名が継続したいとの意向。

高齢者DXのために



**高齢者のITリテラシーが問題なのか？
デジタル・ディバイドは解消されるのか？**

80代になると身体的衰えが顕著に

- 視力は、健常成人の1/2程度（平均矯正視力：0.4程度）
- 難聴は、60歳以下の5倍以上（80代の8割が老年性難聴）
- 学習能力は、60歳以下の1/3に低下（記憶力、処理速度が顕著に低下）



(出典)

<http://proteome.tmig.or.jp/pjtdb/Seikatsu/ShiryokuChoryoku/chapt1.html>
https://www.jstage.jst.go.jp/article/geriatrics/49/2/49_222/pdf/-char/ja
http://www.rouninken.jp/member/pdf/21_pdf/vol.21_07-21-01.pdf

「デジタルバリアフリー社会」の実現



**ご清聴ありがとうございました。
ご質問やお問合せは以下までご連絡ください。**

biz@chikaku.co.jp
株式会社チカク 石井宛

APPENDIX



会社紹介



社名 株式会社チカク

住所 東京都渋谷区東2-14-7

設立 2014年3月12日

資本金 7155万円（2020年4月現在）

社員数 20名

ミッション 「距離も時間も超えて、大切な人を近くする・知覚できる世界を創る」

出資者

500 Startups Japan

インキュベイトファンド

野村インキュベーション投資事業有限責任組合

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)

GMO VenturePartners株式会社

SMBCベンチャーキャピタル株式会社



INCUBATEFUND

野村證券
NOMURA



GMO VENTURE PARTNERS

SMBC SMBCベンチャーキャピタル